

(様式6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成21年4月15日

【評価実施概要】

事業所番号	2870101413
法人名	社会福祉法人 鸞園
事業所名	グループホーム御影
所在地	神戸市東灘区御影石町1-2-18 (電話)078-822-5620

評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成21年3月17日	評価確定日	平成21年5月13日

【情報提供票より】 (21年2月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 5 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	25 人	常勤 13人, 非常勤 1 人, 常勤換算	21 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	4 階建ての2~4	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	85,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	140 円	昼食	320 円
	夕食	320 円	おやつ	170 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (2月15日現在)

利用者人数	25 名	男性	1 名	女性	24 名
要介護1	4	要介護2	5		
要介護3	9	要介護4	4		
要介護5	5	要支援2			
年齢	平均 84 歳	最低	67 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	甲南病院 梅村歯科
---------	-----------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

「個人が人間としての尊厳を持って、家庭や地域の中でその人らしい生活が送れるように支える」の理念に基づき行動指針として「マインド」を掲げご利用者一人ひとりの尊厳を大切に支援している。地域との交流が取り難い立地条件であるが、地域の行事・婦人会主催の「かがやきサロン」への参加・保育園児の訪問、また、ボランティア・地域からの協力等、交流も深くなっている。管理者・職員はご利用者・ご家族から生活暦・身体状況等を確認するとともに、暮らしへの希望・意向を把握し記録している。職員は日常のなげない本人の表情や言葉からの思いを受け止め記録に残し、職員間で情報を共有している。また、日々の暮らしが楽しみや張り合いのあるものになるよう、塗り絵・折り紙など、ご利用者個別の趣味やアクティビティの活動の支援を行なっている。ボランティアの協力により書道・ペン習字・フラワーアレンジメント他多様な活動も定着している。管理者・職員は趣味や役割の場面作りに努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	前年度の評価結果は職員全体で確認し、改善点を課題として取り上げ検討改善していく取り組みを継続している。実践的なことについては特に日常のケアの中で事故や問題が発生した場合、評価を活かし意識して改善にとりくんでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)
	今年度の自己評価については、評価用紙を全スタッフ全体で確認し作成している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
	ヶ月に1度の割合で運営推進会議を行っている。施設の現状・利用者の状況等報告し意見を収集している。また、別枠で家族会の時間も設けている。家族会は多数の家族の参加があり、意識の高さが伺える。意見交換・提案等リートークでリラックスした雰囲気の中で率直な意見が出やすい環境を整えている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	毎月請求書と一緒にご利用者の身体状況・日常の様子を定期的にご家族に送付している。また、ご家族の訪問時にも伝え、急な身体状態の変化は、状況が細かく伝わるように電話で伝えるようにしている。運営推進会議においても運営に関してのご家族からの活発な意見・提案もある。意見箱の設置など、率直な意見ををあらせる機会を設けている。家族の意見に対してはその都度迅速に対応している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
重点項目	婦人会が主催している「かがやきサロン」に月1回参加している。敬老会に保育園から園児の訪問があったり、地域のもちつきに参加したり付き合いも深いものになりつつある。ボランティアの活動も継続しており、地域からの協力を得やすい状況である。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設の理念として、「個人の尊厳」と「地域での生活」を掲げ、理念に基づいた行動指針として「マインド」を掲げご利用者一人ひとりの尊厳を大切に支援している		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフは理念と行動指針を共有し、日頃の業務の中に浸透させている。課題設定を行い計画的に理念を振り返る機会をもっている。職員は理念・行動指針を名刺型のカードに記入しており、スタッフは常時携帯して、意識して業務の反映に務めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	婦人会が主催している「かがやきサロン」に月1回参加している。敬老会に保育園からの園児の訪問があり、地域のもちつきに参加するなど交流も深いものになりつつある。ボランティアの活動も継続しており、地域からの協力を得やすい状況である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前年度の評価結果は職員全体で確認し、改善点を課題として取り上げ検討改善していく取り組みを継続している。実践的なことについては特に日常のケアの中で事故や問題が発生した場合、評価を活かし意識して改善に取り組んでいる。今年度の自己評価については、評価用紙を全スタッフで確認し作成している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度の割合で運営推進会議を行っている。施設の現状・利用者の状況等報告し、意見を収集し運営に反映させている。運営推進会議後、家族会の時間も設けている。家族会は多数の家族の参加があり、意識の高さが伺える。意見交換・提案等リラックスした雰囲気の中で率直・提案が出ている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町との連絡は主に書類でのやり取りが多く、定期的な機会は設けていない。入居者が他市の場合も担当者と連絡を取り合い相談している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月請求書と一緒にご利用者の身体状況・日常の様子を定期的にご家族に送付している。また、ご家族の訪問時にも伝え、急な身体状態の変化は、状況が細かく伝わるように職員が電話で伝えるようにしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議においても運営に関してのご家族からの活発な意見・提案もある。意見箱の設置など、率直な意見を表わせる機会を設けている。家族の意見に対してはその都度迅速に対応している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>現在離職はなく、職員配置については落ち着いている。ユニットにはこだわらず全職員でご利用者に対応する体制を構築しているが、当初多少の混乱はあったものの全ユニットに関しての把握ができるようになり、業務の改善にも役立っている。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>土、日曜日に内部研修を行っている。事前にテーマを挙げ、業務に支障を来さない時間帯に実施するようにしている。外部研修についても経験に応じた受講を積極的に勧めていくよう取り組んでいる。神戸市からの指導もあり、特に身体拘束、事故対応については新年度より実施する予定である。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>区内グループホーム連絡会が再開でき、2ヶ月に1回行っている。地域包括センターからの出席もあり、制度改正、事故対応等、東灘近隣でできそうなことについて話し合っている。他施設の研修に参加したり交流の幅を広げつつある。</p>		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用前にご利用者・ご家族と面談し、ご利用者が納得して利用できるようにホーム見学を勧めている。ショートステイによる外泊の体験を勧め、雰囲気を理解し、入居者やスタッフと一緒にお茶を飲んで馴染みやすい環境を作りあげている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々の生活の中で一人ひとりの思いを把握し、その人らしい暮らしが継続できるよう支援している。ご利用者・職員が掃除、洗濯、食器洗い等を一緒に行いながら場面作りを提供し、一方的な関係にならないよう配慮している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご利用者・ご家族から生活歴・身体状況等を確認するとともに、暮らしへの希望・意向を把握し記録している。職員は日常のなにげない本人の表情や言葉から思いを受け止め記録に残し、職員間で情報を共有している。言葉で訴えられないご利用者や、特定のスタッフにしか話さない方についても個々に対応している。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアカンファレンスを開催し、作成されたケアプランを基にご利用者のケアに努めている。面会時や運営推進会議での家族の意見をプランに反映させている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ご家族からの要望・利用者の急な変化時は担当のスタッフや管理者・医師と速やかに連絡をとり、随時見直しを行い、的確に対処できるように体制を整えているが、今後も記録の遅れがないよう業務の見直しを図ることを課題としている。</p>		<p>介護計画は予め決められた期間ごとの評価見直しを実施すると共に安定しているご利用者の場合も、月に1回程度は、本人状況を確認し、予防的に対応していくための介護計画の見直しが望まれます。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携体制加算で24時間体制でのご利用者の健康管理を行っている。心療内科・精神科の受診時の通院支援・入退院時の送迎等、日常的なご利用者一人ひとりの要望に添えるように務めている。</p>		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>基本的には入所前の主治医をかかりつけ医とし、往診も可能であり、事業所と各ご利用者の複数医療機関との連携も十分取っている。かかりつけ医のないご利用者は特養のドクターが担当している。定期的に往診日が設定されており、健康管理は適切になされている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>医療連携体制を構築しており、契約には柔軟性を含ませている。家族や医師とは十分に説明を行った上で同意してもらっている。医療的な必要性から殆どの方は入院されることが多いため今までホームでの終末期や看取りの事例はない。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の管理については家族に説明を行い、契約を交わしている。スタッフには個人情報の大切さを意識するよう指導している。記録物等は施錠できる場所に保管し、利用者や他の家族の目につかない場所に管理している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個人の趣味や習慣を大切に考えており、個人ごとのアクティビティにも対応している。懐メロのカラオケやボランティアの企画にも声かけを行い、記録にも残し、後のプランにいかせるよう配慮している。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>ご利用者の状態や希望に合わせ、盛り付け・配膳・下膳・後片付け等職員と共に行い楽しみと自立につながるように支援している。ご利用者は自分のペースでゆっくりと食事を楽しみ、職員は急がせることなく見守りながらさりげなくサポートしている。通常食事は併設の施設から搬入されているが、ユニットで調理を行ったり、少人数で外食を楽しむ機会を持っている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴の曜日は決まっているが、入浴への声かけは随時行っている。また、入浴の形式にこだわらず足浴、手浴等の部分浴にも対応しており衛生保持や体調管理に気を配っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	塗り絵・折り紙など、ご利用者個別の趣味やアクティビティの活動の支援を行なっている。ボランティアの協力により書道・ペン習字・フラワーアレンジメント他多様な活動も定着している。管理者・職員は趣味や役割の場面作りに努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の加齢にともない活動量が減少しているが、散歩を毎日の日課としいる入居者おられる。屋外に出られないご利用者も段差のない広い施設の中を自由に移動されている。		散歩が出来ない、されない方に関しても一日一回は短時間の外気浴・散歩を実施し、昼夜逆転の予防と五感刺激が得られる支援が望まれる。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的に施錠やナンバーロックは行っていない。ご利用者の状況・行動に合わせ事故予防のために、家族と話し合いのもと、やむなく鍵をかける場合もあるが、必要がなくなれば解除している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防訓練を実施している。スタッフ、ご利用者が一緒に訓練を実施している。地域の協力も得て、合同で訓練や講習を行っており、今後は地震や津波等想定した訓練を計画している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る</p>	<p>食事量・水分量・排泄・体重等一人ひとりの 身体状況全体が管理できるシートに記入され 健康管理ができています。食事摂取状況により 総合栄養剤を使用し個別支援を行なってい る。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>落ち着いた色調の各ユニットは臭気もなく室 温調節も行き届き清潔感がある。壁面の装飾 も過度にならず、家庭的な雰囲気を損なわ ないように配慮されている。フロアの一角に ソファを置き、気分に応じてくつろげるよ うな工夫が見られる。利用者と職員の穏やか な会話が生活感を感じさせる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者 や家族と相談しながら、使い慣れたもの や好みのものを活かして、居心地よく過 ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族と相談し利用者の使い慣れた日用品や小 物など持込を働きかけ、居室で利用者が不安 なく過ごせるように支援している。ご利用者 個々馴染みの物や趣味が感じられその人らし く過ごせる環境が整えられており、違和感の 少ない雰囲気づくりにへの細やかな配慮が見 られる。</p>		

は、重点項目。